



■ゆっくりリズム山行 熊野古道と四国山～高森山の尾根歩きを楽しむ

- 山 行 日：3月23日(月)～24日(火)
- 参 加 者：La 渡邊(俊) SLa 荘所 大谷 金島 狩集 河合 澤田(卓) 田羅間(易) 舛賀
Lb 澤田(律) SLb 瀧原 粕谷 川上 篠原 田口(末) 田口(善)
田羅間(勤) 長谷川(孝)

行動記録 23日(月)
熊野古道 山中溪～布施屋

場 所	着	発
山中溪駅	10:07	10:30
中山王子	11:30	11:35
山口王子	12:28	12:50
山口神社	13:07	13:25
川辺王子	14:20	14:33
川辺橋北詰め	14:58	
吐前王子	15:40	
花山温泉	16:00	

行動記録 24日(火)
四国山～高森山ピストン

場 所	着	発
登山口	9:30	9:40
四国山	10:00	
広場	10:20	
高森山	10:55	11:05
広場	11:35	12:50
四国山	13:05	
下山口	13:20	

◆◆熊野古道・紀伊路を歩く

河合

紀伊半島の海岸沿い、JR 阪和線の山中溪駅から18人の紀伊路巡りがスタートする。

「車道を歩くことが多いので車に注意をしてください。」とリーダーから言われる。10時半、まだ蕾が固い桜並木を通り紀州街道に入ると、旧庄屋らしき屋敷にお正月のしめ縄が残っていた。地方で見かける風習がここにも残されていた。上皇の参詣の賑わいが武士や庶民へと移り千年の文化を語る熊野古道、街道の家々は可愛い花々があったり、ユーモラスな玩具などで癒される。山中関所跡を過ぎ阪和線に沿って歩き続けると、免許状を得て父の仇打ちを果たしたという日本最後の仇討ち場がある。この辺りから和歌山市になる。沿線の踏切を渡り、街道を感じる集落に中山王子址を確認する。県道に戻り雄ノ山峠の登り坂、急な下り坂は架設工事の現場が続く、かなり様子が変わりそうな道路だ。

街道に散在する王子は参詣者を守護する神であり、街道の住民の神でもあった。また休憩・宿泊所として聖地への旅を支える施設であった。山口王子址から民家を抜け山口神社へ、周りは段々の田圃、彼方に低い山々が連なり展望も良く気持ちがいい。私たちも参詣者の気分で一息入れる。国道を阪和線に沿って歩き川辺王子址に向かったが、道標が分らず探していると親切な男性が同行して道案内して下さる。交差点では埋め込まれた熊野古道の導き石があるが・・・進路が変わる要所は目につく確かな案内が欲しかった。

続いて中村王子址から力侍神社に行くと川辺王子址を再び見る。道筋が時代が変わったり、紀ノ川の氾濫で流域が変わり王子の位置は定かでない。暴れん坊の紀ノ川はさぞかし参詣者を苦しめたことだろうと長い川辺橋を渡りながら思う。さらに布施屋方面に1キロ程歩き、最後の吐前王子址を確認して宿の花山温泉へ向かう。有馬温泉のような炭酸鉄泉は身体に良い温泉です。

“世界遺産の熊野古道を大切に歩こう！”



◆◆四国山から高森山をピストン

長谷川

私は、今、熊野古道（中辺路）をシリーズで歩いています。この山行案内をみて、行きたいと思い参加を申込みしました。

3月23日 熊野古道（紀伊路）山中溪～布施屋を歩く、ほとんどが舗装道路で腰痛持ちの自分には、かなり応えました。泊りは、秘境の宿、花山温泉薬師の湯です。

お湯に入ると、茶褐色で炭酸鉄泉です。湯ぶねの縁には温泉の成分が結晶となって堆積しています。疲れた体を癒し、おいしい料理アルコールも少し頂き楽しみました。

3月24日 四国山から高森山をピストンです。所要3時間程度の低山縦走です。

花山温泉よりジャンボタクシー2台に分乗して、四国山登山口に到着、天気は良いが冷たい風が吹いて、まだ寒いです、モニュメントのある場所でストレッチをして、登り始める。

急登を過ぎた辺りで、眼下に大きく広がる紀淡海峡がみえます。暫く行くと立派な展望台です。ここは四国山山頂展望台でした。360度の素晴らしいパノラマです。

前方には、友ヶ島と背景に淡路島が重なって左側に小さく見える沼島、また淡路島の最高峰諭鶴羽山が見え、西方には、大きく削られた跡がある。調べたところ関空を埋め立てるための土砂を採取した場所だとか、現在そこには沢山のソーラーパネルが設置してありました。そして展望台の床の天井にはかわいい絵が描かれていました。

北方に見えるのはこれから行く高森山を眺めながら適度なアップダウンの稜線を歩きます。新たに展望台が有りましたが階段がボロボロで立ち入り禁止になっている。

しばらくすると高森山山頂です。284.5mの三角点にタッチする。「標識には和泉山脈西端です」集合写真を撮り登ってきたコースを帰ります。途中、山頂広場の端に休憩所とテラスがあり、ここで昼食にする。時間が余るのでリーダーより「反省会をします。」と言われ、各自思った事を話し合い登山口に戻る。軽いストレッチをしてジャンボタクシーに乗り、ふくろうの湯まで送ってもらい入浴をして徒歩で和歌山駅に着きここで解散です。

皆さん2日間お疲れ様でした、ありがとうございます。



■アルプ春山トレーニング 伯耆大山

- 山 行 日：4月2(木)
- 参 加 者：L 竹内 SL 佐々木 尾越 三木(悦) 和田
- 行 動 記 録：南光河原駐車場(8:20 着)8:45 発～3合目(9:20 着)9:25 発～5合目(10:10 着・アイゼン装着)10:20 発～6合目(10:45 着)10:50 発～弥山頂上(12:00 着・昼食)12:45 発～休憩(13:30 着)13:35 発～休憩(14:10 着)14:15 発～南光河原駐車場(14:30 着)

◆◆春の日差し的大山

和田

朝3時半に目覚ましをセットしたが、その直前に目が覚めた。犬の餌やりをし、ヘッドライトを付けて散歩に連れ出し、そしてむすび弁当を作った。山行きの日の一連の行動である。

今日は宝殿駅北側に6時集合である。日帰り山行で大山まで行くので、早めの出発である。

宝殿に5:45に着いてみるともう他のメンバー4人は揃っていた。車2台で出発である。

私は佐々木さんの車に乗せてもらった。播但道、中国道、米子道を通って行ったが、米子道に入ってしばらくした時、大山はいきなり眼前に現れたという感じでみえてきた。白と山ひだの黒のコントラストのくっきりとして迫力のある山容が突然に見えてくるのである。

大山の北側の大山寺近くの駐車場に着いた。山肌に雪はあるが駐車場には雪は無い。

今日は暖かく晴れて、かつ風もない。今日のコースは夏山登山道という北側の尾根筋を登るコース。9時前にのぼりはじめた。初めは雪の有るところ無いとこの道だったが、雪が少し多くなってきた頃、リーダー(竹内さん)からアイゼンをつけましようとして指示がでた。私のアイゼンは先日蓼科へ行く時買った新品の12本爪である。よっしゃー、歩くぞおっ！という気分である。登山道のどちらを見てもブナ林である(ネットでみるとここは西日本有数のブナ林とのこと)。登るにつれ、二合目、三合目と標識が現われる。スキーを担いで上がる人がちらほらという。五合目の標識のある所で、おっちゃんと4人のおばちゃんが休んでいる。私達も一服である。すぐ近くには石彫の神さんが祭ってある。またこの辺りから、左方向にほぼ水平な尾根筋からどーんとこちら側に落ち込んでいるごつごつと険しい北壁が見えてきた。日差しが有る為か谷筋に白と黒の筋がくっきりと映えている。



途中でリーダーが尾根筋を少しはずれていった。そこには避難小屋があった。小屋の角がかろうじて掘り起こされて表面に出ている小さい小屋である。中をのぞくと2畳程度の何も無い部屋で小舟状のそりが一つあった。地形図でみるとここは標高1300mの位置である。

この時期だからかもしれないが、雪のある所があり雪のないガレ場がありである。ガレ場はアイゼンでは歩き難い。リーダーは余裕で登っている様に見えるがこちらは青息吐息である。少し離れそうになると待っていてくれる。

八合目あたりから、キャラ木が目立ちだした。このキャラ木の間は雪で埋まっているが、その

下が空洞になっていて、脚がスボッと落ち込むことがある。スリルを味わいながらの歩行である。この辺りはもう有っても灌木か草である。今は11時半である。それにしても穏やかな好天である。あと30分位で頂上ですとリーダー。

頂上に着いた。周囲がぐるっと見渡せる。直ぐ下には米子の街や弓ヶ浜が見える。箱庭みたいである。少しかすみがかっているのが惜しい。記念写真を撮った。頂上避難小屋に入り昼食をとった。そのうち途中で出会ったあのおっちゃんと4人のおばちゃんも入ってきた。訊くと松江からきたとのこと。

12時半頃に下山を始めた。降り初めて少ししたら猛烈な風が吹いて来た。丁度木道の上を歩いていた時だったが、風で木道から落とされそうだった。天気は晴れているのにこんな強風が吹くとは。下りはやっぱり早い。もうイダテンの如くである。2時間ぐらいで降りた。米子道を帰っていたら、日を一杯に浴びた大山がまたドーンと見えてきた。



■市章山(神戸) ランドマークの山と異人館散策

- 山 行 日：4月8(水)
- 参 加 者：L 三木(悦) SL 瀧原 阿江 瀬尾 田中(美) 田中(由) 村上
- 行 動 記 録：JR元町駅 10:00 発～諏訪神社(10:25 着) 10:40 発～ビーナスブリッジ(10:55 着) 11:05 発～錨山(11:35 着) 11:40 発～市章山(11:45 着) 11:50 発～道徳山(12:10 着) 12:13 発～城山(昼食・12:30 着) 13:00 発～猿のかずら橋(13:17 着)～新神戸駅裏(13:45 着)～北野町(14:05 着)

◆◆市章山(神戸)

村上

朝方の雨が多少残る中、10時JR元町駅集合。いつもの山行よりゆっくりめのスタートです。花曇りになり少人数なので和気あいあいと諏訪山神社からビーナスブリッジへ。桜の花も満開。



ここで3週間の日本旅の途中というオランダ人と出会う。

なんとも優雅な……。今回は読図をしながら奥再度ドライブウェイの車道を何度か横切って、ウバメガシで錨の形(錨山)や神戸市の市章マーク(市章山)にきれいに刈り込まれています。桜も淡いピンクや白、まだまだきれいです。そして今回の最高峰、堂徳山(337m)。尾根を渡る風は寒い。12時頃、滝山城跡で昼食。午後は雲の間から日差しが届くこともあり、登山道には桜・あせび・寒椿の赤い花びらが綺麗です。猿のかずら橋を渡り新神戸の駅裏から北野町へ。14時過ぎ、港みはらし台で一息。桜の花びらの絨毯の道を下りて観光客でにぎわう街へ。女子会はケーキとコーヒーでティータイムを楽しみ解散しました。